



なんだこれ サークル

2019
公式ハンドブック

よなごパイセン著 ・ いわぶちたくろう編

なんだこれ?! サークルへようこそ!

このサークルは、思わず「なんだこれ?!」と言ってしまいそうなことが大好きな人たちの集まりです。なんだこれ?! なことを思いついたら、実際にやってみたり、カタチにしたりします。そしてそれを誰かに見せて「なんだこれ?!」と言わせたり、そのなんだこれ?! が何なのかを考えたりします。

え、どうしてわざわざ「なんだこれ?!」ってことをやるのかだって? たしかに、「なんだこれ?!」と言われるのは、まちがいを正される時や注意される時で、ふつうはあまりうれしくありません。でも、お父さんやお母さんにイタズラをして「なんだこれ?!」と言わせたり、先生の出した問題に誰も思いつかないような答えを言って「なんだこれ?!」と思わせるのは、楽しいと思いませんか?

この本は、これからなんだこれ?! を始める人のための、基本的なルールや心がまえ、考え方のヒントが書かれています。また、パイセン (=せんぱい) たちのすごいなんだこれ?! も、よりすぐりでしょうかいします。

ぜひこの本を参考にして、君だけのなんだこれ?! を探してください。そして周りの人たちを「なんだこれ?!」と言わせてください。

なんだこれ?! サークルとは?

なんだこれ?! サークルは、1917年にアメリカのニューヨークで発足したと言われています。でも本当はもっともっと前からあったという説もあります。活動は世界中で行われていて、何人くらいメンバーがいるかは分かりません。

なんだこれ?! サークルは、これまですごいパイセンたちをたくさんはいしゅつしています。すごいパイセンたちは、自分で考えたすごいなんだこれ?! で、人々をおどろかせたり不思議がらせたりしています。ときには誰かの考えを根本から変えてしまったり、世界のルールをゆるがしてしまうことだってあります。

なんだこれ?! サークルは、年れい、性別、国せき、宗教、セクシヤリティなど、参加資格はいっさいなく、自由に参加することができます。そして誰の許可もなく、自由に活動することができます。

なんだこれ?! サークルは、ほこり高い伝統のサークルです。メンバーは、けっしてはずかしがらず、胸をはってどうどうと、なんだこれ?! について考え、発表し、人々を「なんだこれ?!」と言わせなければなりません。モットーは「なんだこれ?! はちょうクール!!!」です。

なんだこれ?!サークル てつ 鉄のおきて

1

しんけんにやる、しんけんに見る

どんななんだこれ?!にもしんけんに向き合うこと。
はずかしがったり、ふまじめにやるのが一番かっこわるい。

2

まねをしない、でも^{さんこう}参考にする

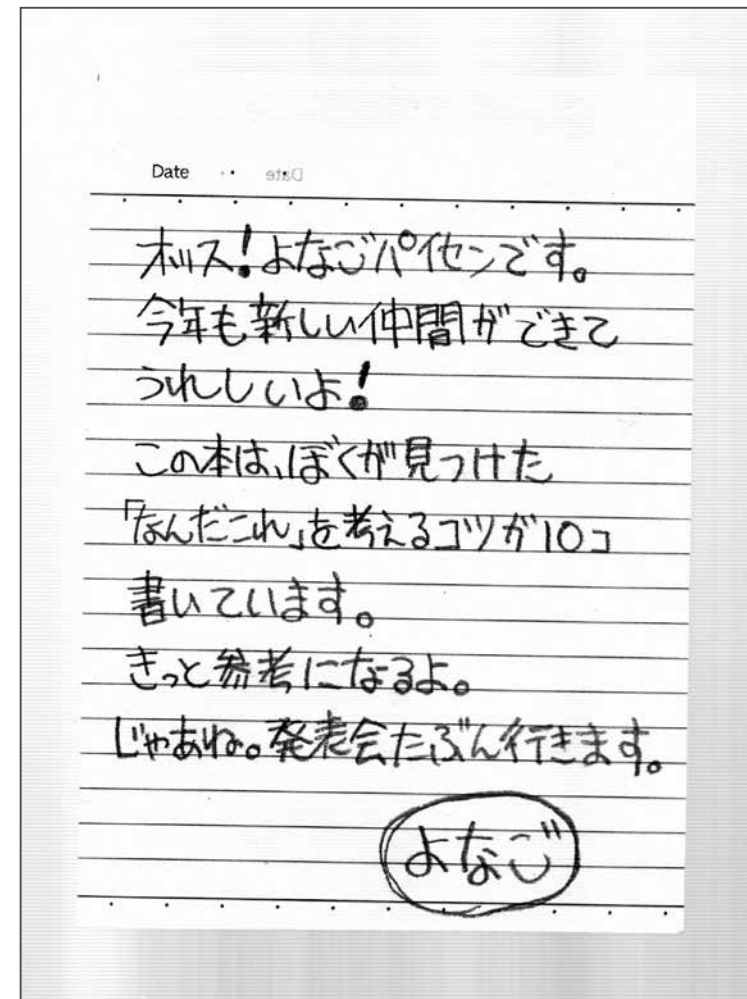
他の人が考えたなんだこれ?!をまねしても、
なんだこれ?!は生まれない。でもいっぱい^{さんこう}参考にしよう。

3

きずつけない、きずつかない

なんだこれ?!のために、^{だれ}誰かをきずつけたり、もしくは
自分がきずついてはいけない。体も、もちろん心も。

物をこわすときはよく考えてからこわそう。



2011年8月31日、伝説のよなごパイセンが書き残したメモ。

よなごパイセンはこの本を作った後、とつぜんいなくなってしまった!!!

1

だれ 誰もやってない ことをやってみる

なんだこれ?!の基本は、周りの人が誰もやっていないことや、やりそうにないことをやることです。みんなと同じことや誰でもやりそうなことをやっても、なんだこれ?!にはなりません。

みんなとちがうことをするなんてはずかしい! 始めてなんだこれ?!にちょうせんする人は、思うかもしれませんが、でも、全ての“新しい”も“カッコいい”も“カワイイ”も“オシャレ”も、なんだこれ?!からしか生まれません。

すごいパイセンのなんだこれ?! セレクション

- 村上さぶろう 体当りして大きな紙を破る ①
- まなべだいと 音楽にあわせて顔に電気を流す ②
- レディー・ガガ 生肉でできたドレス ③

2

ほうほう やりにくい方法で やってみる

ふだん使っているのと逆の手で字を書くとフニャフニャした字になったり、口に水をふくんでしゃべるとゴボゴボした声が出たりして、なんだかすごくヘンな感じになります。

こんなふうに、いつもやっていることを少しやりにくい方法でやってみると、なんだこれ?!なものができたり、それをやっている様子がなんだこれ?!に見えたりします。

すごいパイセンのなんだこれ?! セレクション

- しのはらうしお ボクシングのグローブに絵の具をつけて絵をかく ④
- シャグス 音楽をやったことない人だけで結成したロックバンド ⑤

3

ひっくりかえしてみる

服を裏がえして着る、本を最後から読む、逆立ちをしてご飯を食べる、ビデオを逆回転する……だいたいのはひっくり返すと、ふだんとちがうように見えたり、意味が分からなくなったりして、なんだこれ?!となります。

大切なのは、いろんな方向にひっくり返してみることです。そうするといろんななんだこれ?!が見つかるはずです。

すごいパイセンのなんだこれ?! セレクション

スパイク・ジョーンズ 逆回転っぽく動いたえいぞうを逆回転 ⑥
カーステン・ヘラー 天井から大きなキノコが生えている部屋 ⑦

4

大きさを か 変えてみる

本当は小さなものが大きかったり、大きなものが小さかったり、よく知っているものの大きさが変わるだけで、人はなんだこれ?!と感^かじます。これは単純^{たんじゆん}ですが、とても効果^{こうか}的ななんだコレ?!です。

ただ、大きなものを作るのも、小さなものを作るのも、実際^{じっさい}にはなかなか大変^{たいへん}です。だけど、つまようじでご飯を食べたり、横にいる人ともものすごく大きな声で話したりすることはできますね。

すごいパイセンのなんだこれ?! セレクション

シュテファン・バルケンホール よくいそうな人の小さな人のちょうこく ⑧
フロレンティン・ホフマン 巨大なアヒルのオモチャを川にうかべる ⑨
マウリツィオ・カテラン 人が乗れないくらい小さなエレベーター ⑩

5

同じことを すごくくり返す

ノートの表紙を水玉にぬると、めっちゃカワイイかもしれませぬ。でも着ているものを全部水玉にしたり、部屋のもを全部水玉にぬったら、なんだこれ?! になると思いませんか?

どんなことでも、ものすごく、ものすごく、ものすごく、くり返すとなんだこれ?! になります。でも、これをするのはとても時間こんぎと根氣かえがいります。だから、くり返すものは簡単かんたんなことのほうがいいかもしれませぬ。

すごいパイセンの なんだこれ?! セレクション

くさまやよい なんにでも全部水玉をかく ①

かわら おん 毎日毎日、その日の日付をキャンパスにかく ②

ジェフ・ミルズ くり返しなから少しずつ変わっていく音楽 ③

6

よくわからない 名前をつける

犬がかいてある絵の題名が「犬」なのはとてもふつうです。でも、題名が「ねこ」だったら? 「ひまわり」だったら? 「食べかけのサンドイッチ」だったら?

何かに、その何かといっけんぜんぜん関係かんけいがなさそうな、でもよく考えるとどこか関係かんけいがありそうな名前をつけると、だいたいなんだこれ?! になります。そして不思議ふしぎなことに、そんな名前をつけたしゅんかんから、それは今までとは少しちがったふうに見えてきます。

すごいパイセンの なんだこれ?! セレクション

ルネ・マグリット 「これはパイプではない」という題のパイプの絵 ④

バーバラ・クルーガー 「お値打ち」とかっよく書かれた猿さるの写真 ⑤

あかせがわけんべい 面白い風景を写真にとって勝手に名前をつける ⑥

7

いろんなものを 組み合わせる

アイスクリームにしょう油をかけると、みたらし団子^{だんご}の味になるそうです。それはともかく、何かと何かを組み合わせるとなんだこれ?!になることがよくあります。

例えば、なわとびをしながら本を読んだり、パンとパンとの間に手ぶくるをはさんでみたり、組み合わせる方法^{ほうほう}はいろいろあります。何と何を組み合わせるかは、いっぱい試^{ため}してみてください。

すごいパイセンのなんだこれ?! セレクション

マルセル・デュシャン 上に車輪^{しゃりん}がついていて座れないイス ⑰
クリスチャン・マークレー いろんなレコードを同時に再生^{さいせい} ⑱
コリー・フォーゲル ドラムをたたきながら編み物^{あみ}をする ⑲

8

ふつうのことを わざわざ やって見せる

想像^{そうぞう}してください。マジシャンが空っぽの箱に布をかぶせて、その布をパッととった時、箱が空^{から}のままだったら、なんだこれ?!と思いませんか。すごく当たり前のことを、わざわざステージの上でやったりビデオにとって人に見せたりすると、なぜかなんだこれ?!となります。

もしかするとそれを見た人は「ぜんぜん面白くない！」と言うかもしれません。でも、どうどうとしていれば、だいじょうぶです。

すごいパイセンのなんだこれ?! セレクション

しまぶくみちひろ 海でとったタコを別の海でにがす ⑳
リクリット・ティラバーニャ 美術館^{びじゅつかん}でカレーパーティーをする ㉑

9

やると

怒られそうな ことをやってみる

ぎょうぎが悪いことや、いたずらみたいなことをやると、
だいたい誰かに「なんだこれ?!」と怒られます。それは
大人も子どもも同じです。でもなんだこれ?!の世界では、
怒られそうなことをわざとやる人は少なくありません。
大切なのは、怒られそうだけどギリギリ怒られないこと
を見つけることです。でも、これをするのはとても強い
気持ちがいります。やりたくなったら必ず近くのパイセン
に相談してください。

すごいパイセンのなんだこれ?! セレクション

ルーチョ・フォンタナ キャンパスをナイフで切りさく ㉒

マグダ・セイエグ 町の柱やひょうしきを毛糸でかわいくかざる ㉓

Chim ↑ Pom カラスの声をスピーカーから流してカラスを集める ㉔

10

(ほとんど) 何もしない

これはほんとうにたまにですが、何もしないという
ことが、なんだこれ?!を生み出すこともあります。
ただ、本当に何もしないと、何もできないし、何もお
きません。大切なことは、何もしないための準備をしっ
かり時間をかけてすることです。

この方法は最後の手段です。ほとんど失敗します。
だからおすすめてはしません。

すごいパイセンのなんだこれ?! セレクション

ジョン・ケージ 楽器の前で座っているだけの演奏 ㉕

ロバート・ラウシェンバーグ 白い絵の具をぬっただけの絵 ㉖

ベンジャミン・ベネット 座って笑っているだけのユーチューバー ㉗

さて、その なんだこれ!? はなんだこれ? に見えますか?

なんだこれ?!を考えたりやったりしている時は、ほとんどの場合楽しいものです。でも、それが本当になんだこれ?に見えるかどうかは、ちょっと^お落ち着いて^つ見なおす^{ひつよう}必要があります。

- ◎^{ひとばん}一晩ねて、朝もう一度考えてみよう。
- ◎写真やビデオにとって見直してみよう。
- ◎他の人に見せて「なんだこれ?!」^{ため}って言うか試そう。

子ども向け連続アートワークショップ「なんだこれ?!サークル」は、2000年以降に全国各地で数えきれないほど行われてきた子ども向けアートプログラムに対する、ある疑問から生まれました。その疑問とは「子どもにアートは可能か?」です。

これは「子どもは概念としてのアートを本質的に理解するか」といった、いかにもアート然とした問いかけではありません。それは選挙権を持たない人に対して「今週末は選挙、ぜひ投票へ」と呼びかけることが矛盾しているように、子どもにアートを促すことにそもそも構造上の矛盾があるのではないかという、いたってシンプルな問いかけです。

言うまでもなく、私たちが「アート」と呼んでいる営みは、自由な表現と批評(ここでは広く、表現に意味や価値を見出すこと)の上に成り立っています。そしてそれらが絡み合い、ぶつかり合い、最終的に共犯関係を結ぶことで、アートはアートとして立ち上がります。批評のない表現も、表現のない批評も、アートにおいては成立しえないのです。

しかし子どもたちには、自由に表現する権利も、自由に批評する権利も、実はそれほど十分には与えられてはいません。大人が子どもに大きな紙を与えて「自由に絵を描きなさい」という時の自由は、「校庭の中で好きに遊びなさい」という程度の自由でしかありません。また、友だちが時間をかけて完成させた作品について、相対化し、手きびしい感想を述べる自由も(また述べられる自由も)子どもたちには与えられていません。つまり、子どもたちはアートをアートたらしめているもっとも重要な部分に、触れることも味わうことも許されていないのです。

その一方、私たちは、膨大な思索と綿密な計画、行き届いたマネジメントによって実施されるワークショップやプロジェクトが、子どもたちに何物にも代えがたい豊かな経験をもたらすことをすでに知っています。普段は発揮されることのない創造性をかきたてられ、互いの表現を認め合うことで多様性を知り、自らのコミュニケーションの可能性を広げる。こうしたアートの有用性ははっきりと証明しにくいものですが、子どもたちの表情や体の動き、そしてその場を共にした大人たちの手応えによって、おおよそ確かなものとして確認されていると言えるでしょう。

ですから「子どもにアートは可能か?」という疑問は、子ども向けのアートプログラムそのものの意義をいまさらに問い直すものではありません。ただ、その軸足が「アート」に置かれる以上、先に述べたような矛盾を避けて通ることは構造的にできないのです。そしてそうした矛盾は、アートプログラムに無意識の欺瞞を埋め込み、自らの可能性を陰らせているようにも見えます。

問題は「アート」そのものの構造。だとすれば、いっそのことアートプログラムから「アート」を取り除いてしまえばいいんじゃないか。そうすることで、アートプログラムはもっと本質的な意味で「アート」を子どもたちの中に芽生えさせることができるのではないか——。2014年、大阪を拠点に子どものための非常にユニークなアートプログラムを多数開発しているNPOcobon タチヨナプロジェクト(現在は一般社団法人タチヨナ)から小学5・6年生を対象としたプログラムの開発を依頼された私は、そんな禅問答にも似たアイデアを思いつきました。そしてそこから生まれたのが、ワークショップとしての「なんだこれ?!サークル」であり、同ワークショップの教科書として制作

されたこの冊子でした。

実際のワークショップの内容についてここでは詳しく触れませんが、その趣旨と方向性については本冊子をお読みいただければ概ねご理解いただけると思います。補足しておく、アートプログラムから“アート”を取り除くべく、以下の3つの方法を試みています。

- ① 「アート」ならびに「アーティスト」という言葉を使わない。
- ② 教科書を制作し、プログラムの柱とする。
- ③ 表現の表層をパターン化し、そのままメソッドとして提示する。

①は「アート」を「なんだこれ?!」、「アーティスト」を「パイセン(=先輩)」に置き換えています。ちなみになんだこれ?!サークルは、M・デュシャン「泉」の制作年である1917年に始まった伝統的世界的サークル活動であり、才能あふれるパイセンを数多く輩出しています。

②はアーティストではない人がアートプログラムを行えるようにすることが目的です。これはけっして特別なことではなく、ある教科を専門としない教員が教科書を用いることで授業が行えるのと同じです。多くのアートプログラムにおいて必然的(もしくは特権的?)にアーティストがその中心的役割を果たす状況は、その軸足が必然的にアートに置かれてしまう最大の要因となっています。

③は本来複雑なプロセスを経て完成する表現の表層のみをすくい取り、「あるある化」して真似やすくすること、つまり練習をしやすくすることが目的です。スタイルや方法を真似ることは何においても練習の基礎です。しかしアートはその独創性が担う価値が大きく、例えば音楽において好きなバンドの曲をコピーするといった練習に意義を見出しにくいという性質があります。また、表現をかたちにする

ことと表現を味わうことを地続きにすることで、アートという営みの総体を感じ覚的に理解できるのではないかという意図も込めています。

さらに、具体的に参考になりそうなリファレンスも各項目に合わせて掲載しました。これに関してもいわゆる狭義のアートに限定せず、ファッション、音楽、ダンス、演劇、民族などあえてさまざまな分野から拾い上げることで、子どもたちの創造性を“アート”の範囲にとどめないよう心がけました。

この「なんだこれ?!」なワークショップと冊子が、子どもたちの新たな創造性のとびらを開ききっかけとなると同時に、アートにおける自由な表現と批評の精神をいつわることなく子どもたちへ差し出す新たなプログラムの誕生へ繋がっていくことを心より願っています。

2019.8 岩淵拓郎



岩淵拓郎 いわぶちたくろう

1973年兵庫県宝塚市生まれ/在住。2002年から美術家として活動、「言葉の意味とニュアンス」をテーマとした作品を発表(2011年に廃業)。現在は編集者として、主に文化芸術に関する書籍・冊子などの編集、地域の文化プロジェクトのディレクションとプロデュースなどを手がける。主な編著に『内子座〜地域が支える町の劇場の100年』(学芸出版社/愛媛出版文化賞)。2000~2015年、京都造形芸術大学講師(編集デザイン)。2012~2014年、宝塚映画祭総合ディレクター。趣味は旅行と料理。

なんだこれ?!サークル 2019 公式ハンドブック

2019年8月15日 発行

著者 よなごパイセン
編集 いわぶちたくろう
発行 メディアピクニック

この冊子の無断転載ならびにコピー、スキャン、デジタル化などの無断複製を禁じます。乱丁・落丁のお取替えは発行所まで直接ご連絡をお願いします。



この本を伝説のよなごパイセンにささげます。

なまえ